

小城市消防団広報だより

あおうみ

2018.09

No.08

芦刈分団

あ あしかり お おぎ う うしづ み みかつき

第34回 佐賀県消防操法大会に出場

7/29
(SUN)

出場隊員

指揮者	楠田	詞也	(芦刈 2-2)
一番員	水田	拓良	(芦刈 3-1)
二番員	松枝	広基	(芦刈 3-2)
三番員	福島	脩平	(芦刈 1-2)
補助員	古賀	貴司	(芦刈 1-1)
補助員	江口	哲司	(芦刈 1-3)
補助員	梅崎	聖也	(芦刈 2-1)
補助員	横田	恭佐	(芦刈 3-3)

大会で得たものは「チーム」と「使命」

指揮者 楠田 詞也(芦刈第2分団第2部)

各選手が、背負った期待や責任を感じる一方、負傷や仕事との両立等の苦悩を抱えながらの数か月でした。訓練を通して、チームが一つになることの大切さと、災害時の迅速かつ正確な活動のための必要な規律と基本を学びました。この先も、消防団員の使命として、メンバーと共に、自らの実践と後進の育成に活かしていきたいです。



消防団にあなただのチカラを！

18歳以上で、小城市に居住しているか、または勤務している方なら男性でも女性でも入団できます。

問 防災対策課(西館2階)【担当】友田・千々和 ☎37-6119



女性団員課程基礎コース入校

6/24
(SUN)

応急手当の心肺蘇生法では、リズムに合わせた心臓マッサージをするやり方やAEDの使い方を学びました。通報してから救急車が来るまでに行うことがとても大切です！

「訓練礼式」「火災防ぎょ」「応急手当」について学びました。県内の女性消防団員が集まる中、小城市からも5名参加しました。一日、充実した訓練ができました。



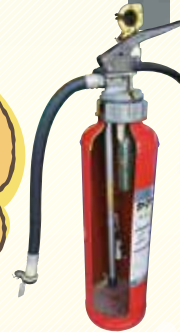
火災防ぎょでは、ホース等の器具操法を習得しました。水圧が強いので、前傾姿勢で行います。女性消防団員は、通常、火災現場に行きませんが、こちらでも経験しておくのとそうでないのでは、全く違います！！



消火器を使うときは、「**ピノキオ**」を合言葉に！

「**ピ**」…ピンを引く。
「**ノ**」…ノズルをはずす。
「**キ**」…距離をとる。
「**オ**」…(レバー)押す。

こうやって覚えると、いざというとき、落ち着いて行動できますね！



小隊訓練が行われました

6/24
(SUN)



梅雨晴れの下、小城消防署にて、消防団役員(部長、班長)の訓練が行われました。普段あまり出ることのない大きい声を出して、号令に合わせての行動等の訓練を受けました。

消防署の職員の方に直接指導を受け技術の向上に努めました。日頃の訓練が非常に大事だと感じました。



辞令交付式

4/8
(SUN)



新人団員への辞令が団長より手渡された



辞令交付式

三日月第2分団第1部 上瀧 和信

今年度より小城市消防団三日月第2分団第1部の一員となった上瀧和信です。

私は消防団の地域活動に興味を持ち、生まれ育った町を守っていききたいと思い、入団しました。

これからは家庭や仕事、それに消防団活動と忙しくなります。しかし、お世話になった方々へ少しでも恩返しができるよう精一杯頑張ります！



夏季訓練

8/19
(SUN)



操法を通して得たもの

小城第2分団第2部 古賀 俊次

私は6月の終わりに消防団に入団し、すぐにポンプ操法のメンバーに選ばれたので最初は不安しかありませんでした。他のメンバーもリーダー以外は初めての操法で、練習を始めた頃は、うまくいかず苦労しました。

しかし、日々練習を重ねていく中で、メンバーや他の部の方々のサポートもあり、消防団の一員として団結力・チーム力が増していくのを感じました。そして当日、絶対に優勝できるという思いで迎えることができ、無事優勝することができました。

今回の訓練で得た団結力を今後は消防活動に生かしていきたいと思います。



女性部

防火訪問

小城市消防団 女性部 藤木 理子

女性部団員みんなで手作りしたしおりと爪楊枝入れをお土産に、一人暮らしをされている高齢者のお宅へ訪問させて頂いています。火災の未然防止や火災による死傷事故を減少させるため消防士さんがきめ細やかな防火指導を行ってくださいます。いざという時のために、日頃から消防署や地域住民の協力体制の充実が大切だと感じさせられました。



ひとりひとりに手渡しました

すてきなしおりと
爪楊枝入れをありがとう



火のしまつは
十分注意してくださいね



三日月第2分団 第1部

キャッチフレーズ

地域の防災リーダーとして

三日月第2分団第1部 坂本 惇



7月15日（日）に行われた樋口・深町地区合同防災訓練は、昭和28年6月、梅雨前線の活発化を起因とした、嘉瀬川水害「通称：28水」を教訓に行われるようになりました。また、参加団員の中には7月6日の大雨時に祇園川や幹線水路の見回りをを行った団員も参加。事前に当日の状況を確認し合い、今までに無い緊張感を持ち、情報伝達や避難誘導へ取り組みました。



☆小城市消防団からの
お知らせなどを配信しています



・右記のQRコードを
読み込んで下さい。



【発行】小城市消防団

【編集】小城市消防団広報委員会（小城市役所 防災対策課 消防防災係内）

〒845-8511 佐賀県小城市三日月町長神田2312番地2

TEL 0952-37-6119

小城市消防団員数

1,058名

(H30年9月1日現在)